

## 要 旨

試 験 委 託 者 : 環境省

表 題 : N,N-ジシクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミドの  
オオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試 験 番 号 : A 0 1 0 4 5 6 - 2

試 験 方 法 :

- 1) 適用ガイドライン: OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類, 急性遊泳阻害試験および繁殖試験」 (1984年)
- 2) 暴 露 方 式 : 半止水式 (24時間後に試験液の全量を交換)  
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供 試 生 物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴 露 期 間 : 48時間
- 5) 試 験 濃 度 : 対照区, 助剤対照区,  
(設定値) 0. 00500, 0. 00840, 0. 0140, 0. 0240, 0. 0400 mg/L  
(試験液調製可能最高濃度)  
公比: 1. 7  
助剤濃度一定: 100  $\mu$ L/L (ジメチルホルムアミド使用)
- 6) 試 験 液 量 : 100 mL/容器
- 7) 連 数 : 4 容器/試験区
- 8) 供 試 生 物 数 : 20頭/試験区 (5頭/容器)
- 9) 試 験 温 度 : 20 $\pm$ 1 $^{\circ}$ C
- 10) 照 明 : 室内光, 16時間明 (800 lux 以下) / 8時間暗
- 11) 分 析 法 : 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

## 試 験 結 果 :

### 1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合が、 $\pm 20\%$ を越える値があったため、結果の算出には測定値の幾何平均値を用いた。精製水中での半減期は 30 時間 (0.04 mg/L) であり、減少の主な原因は加水分解と考えられた。

### 2) 24時間暴露後の結果

	(mg/L)	95%信頼区間 (mg/L)
半数遊泳阻害濃度 (EiC50)	> 0.0314	算出不可
最大無作用濃度 (NOECi)	> 0.0314	—
100%阻害最低濃度	> 0.0314	—

### 3) 48時間暴露後の結果

	(mg/L)	95%信頼区間 (mg/L)
半数遊泳阻害濃度 (EiC50)	> 0.0314	算出不可
最大無作用濃度 (NOECi)	> 0.0314	—
100%阻害最低濃度	> 0.0314	—